

## アミノインデックス® がんリスクスクリーニング (AICS®) のご案内

### ●アミノインデックス® がんリスクスクリーニング (AICS®) とは？

AICS®(エーアイシーエス)とは、血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、現在がんである可能性を評価する検査です。早期のがんにも対応しています。

### ●AICS®の特長

- ・ 1度の採血で、**膵臓がんを含む、複数(男性5種、女性6種)のがんを同時に**検査できます。
- ・ **早期のがん**にも対応した検査です。
- ・ 採血による**簡便な検査**であり、健康診断で同時に受診できます。

### ●AICS®の検査対象者

AICS®は下記年齢の日本人を対象として開発された検査です。これらの方以外の AICS 値は評価対象外となります。

検査項目	対象となるがん種	対象年齢
男性 AICS (5 種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん	25 歳～90 歳
	前立腺がん	40 歳～90 歳
女性 AICS (6 種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25 歳～90 歳
	子宮がん・卵巣がん※	20 歳～80 歳

※子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象としています。子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんである可能性を評価することはできませんが、それぞれのがんの可能性について区別することはできません。

\*上記の対象年齢以外の方が受診された場合でも検査結果は報告されますが、AICS 値やランクは評価対象外となります。

\*一部のがん種についてのみが対象年齢外になる場合、そのがん種は評価対象外となりますので、ご理解いただいた上でご受診ください。

なお、以下に該当する方は、検査結果に影響がありますので検査は受けられません。

- ・妊娠されている方
- ・授乳中の方
- ・がん患者(治療中を含む)の方
- ・先天性代謝異常の方
- ・透析患者の方

●AICS®の結果に影響を与える可能性がある病気について

現在下記の病気にかかっている方は、AICS 値に影響を与える可能性があります、検査の対象外とするものではありません。

AICS®を受診することによって、がんを発見できる機会となると同時に、下記の病気による影響で、がんではないのに AICS 値が高くなりうることをご理解いただいた上で、ご受診ください。

現在までに各種 AICS®の結果に影響を与える可能性がある病気

- ・AICS(肺):慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、肺結核、肺気腫、無気肺
- ・AICS(前立腺):前立腺肥大、糖尿病
- ・AICS(子宮・卵巣):子宮筋腫、子宮内膜症、良性卵巣腫瘍
- ・複数の AICS®:脳梗塞

●受診前の注意点

血液中のアミノ酸バランスに影響を与える可能性がありますので、受診前に下記の注意事項をお守りください。

【検査前の飲食について】

検査前 8 時間以内に、水以外(食事、サプリメント等)は摂らないで、午前中に採血してください。  
なお、検査前日の夕食も肉、魚などの高タンパク質の食事は摂りすぎないようにしてください。

【検査前の運動について】

正しい検査結果を得るために、検査当日朝の運動はお控えください。

【検査前のお薬の服用について】

薬剤の AICS 値への影響に関しては分かっておりません。

検査当日のお薬の服用方法については、事前に主治医または健診施設にご相談の上、その指示に従ってください。

●AICS®の検査結果(AICS 値とランク)について

AICS 値は、それぞれのがんについて、現在がんである可能性を、0.0～10.0の数値で報告します。数値が高いほど、現在がんである可能性が高くなります。現在がんである可能性を判断する目安として、A、B、Cの3つのランクに分類しています。AICS®では、「ランクA」→「ランクB」→「ランクC」の順番で現在がんである可能性が高くなります。

低い ← がんである可能性 → 高い

ランク分類	ランク A	ランク B	ランク C
AICS 値	0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0
がんである可能性	ランク A の人 10,000 人のうち 1 人～8 人※	ランク B の人 10,000 人のうち 3 人～25 人※	ランク C の人 10,000 人のうち 32 人～109 人※

※各ランク内において人数の幅があるのは、AICS®では部位によってがんである可能性が異なるためです。

「ランク B」・「ランク C」について

血液中のアミノ酸濃度は様々な原因で変化するため、がん以外の疾患や、個人特有のアミノ酸のパターンにより、がんでなくとも「ランク B」や「ランク C」になる場合があります。

「ランク A」について

AICS®は、がんの有無を直接調べる検査ではありませんので、「ランク A」であっても 100%がんではないとは言い切れません。また、同時に受診した他のがん検診の結果と異なる場合があります。

●各ランクでのがんである可能性【倍率】

低い ← がんである可能性 → 高い

ランク分類		罹患率※	ランク A	ランク B	ランク C
AICS 値			0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0
AICS(胃)	胃がん	0.1036%	1/3,088 【0.3 倍】	1/603 【1.6 倍】	1/95 【10.2 倍】
AICS(肺)	肺がん	0.0887%	1/3,342 【0.3 倍】	1/604 【1.9 倍】	1/125 【9.0 倍】
AICS(大腸)	大腸がん	0.1325%	1/1,510 【0.5 倍】	1/596 【1.3 倍】	1/92 【8.2 倍】
AICS(膵臓)	膵臓がん	0.0273%	1/12,774 【0.3 倍】	1/2,893 【1.3 倍】	1/316 【11.6 倍】
AICS(前立腺)	前立腺がん	0.1179%	1/1,885 【0.5 倍】	1/398 【2.1 倍】	1/133 【6.4 倍】
AICS(乳腺)	乳がん	0.1264%	1/1,194 【0.7 倍】	1/440 【1.8 倍】	1/198 【4.0 倍】
AICS(子宮・卵巣)	子宮がん・卵巣がん※※	0.0858%	1/4,660 【0.3 倍】	1/794 【1.5 倍】	1/100 【11.6 倍】

各種がんの罹患率を基にした場合の、がんである可能性

出典:味の素株式会社共同研究プロジェクト 提供

上の表は、がん種ごとに、現在がんであるおおよその確率をランク別に示したものです。例えば、AICS(胃)の場合、「ランク A」では 3,088 人に 1 人が、「ランク B」では 603 人に 1 人が、「ランク C」では 95 人に 1 人が、胃がんであることを示しています。

【 】内は各種がんの罹患率を 1 とした場合の、がんである倍率を示しています。

※罹患率は、2012 年の全国年齢階級別推定罹患率(出典:国立がん研究センターがん情報サービス:地域がん登録全国推計によるがん罹患データ(1975 年~2012 年))に基づき、%表記に換算しています。

※※子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象としています。

子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんである可能性を評価することはできますが、それぞれのがんの可能性について区別することはできません。

#### ●Q&A

Q. 検査はどのように行われるのでしょうか？

血液を 5mL 程度採血して検査を行います。

1 回の採血で、男性 AICS®は 5 種類、女性 AICS®は 6 種類について現在がんである可能性の検査を行います。

Q. AICS®は 1 度検査をすれば良いのでしょうか？

AICS®は採血を行った時の、がんである可能性を評価する検査です。生涯にわたってのリスクを予測するものではありませんので、定期的な検査をお勧めいたします。

Q. AICS®を受診すれば、他のがんに対する検査は必要ないのでしょうか？

AICS®は今までのがん検診とは異なり、血液中のアミノ酸濃度からがんの可能性を評価する検査です。今までのがんに対する検査と併用することで、がんを見つけ出せる可能性が高くなると考えられます。

Q. 検査の結果が「ランク A」であれば、がんではないのでしょうか？また、「ランク C」であれば、がんなのでしょうか？

この検査は、がんである可能性を評価する検査で、がんであるか否かをはっきりと判断するものではありません。がんである可能性がゼロの人はいませんので、「ランク A」でもがんではないとは言いきれませんし、「ランク B」や「ランク C」であっても、必ずがんであるということではありません。また、血液中のアミノ酸濃度は、さまざまな原因で変化しますので、がん以外の病気でも AICS 値が高くなり、「ランク B」や「ランク C」になる場合があります。

Q. 検査の結果はどのくらいで報告されるのでしょうか？

検査を受けてから、**2週間程**で結果を報告いたします。

●検査の費用について

この検査には健康保険は適用されません。

検査項目	対象となるがん	検査費用
男性 AICS(5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん	23,000 円
女性 AICS(6種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん・卵巣がん※	23,000 円

※子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象としています。

子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんである可能性を評価することはできますが、それぞれのがんの可能性について区別することはできません。

アミノインデックス®、AICS®は、味の素株式会社の登録商標です。技術開発:味の素株式会社